

公園移動図書館（仮題）

優斗くんは放課後等デイサービスで発達支援を受けている生徒です。自分の考えを伝える力と文章を構築する力に課題があり、時間をかけているのですが、アイデアを整理して提案の形式にすることができませんでした。題名も自分からは出せなかったため、療育指導者の仮題で提出します。

優斗くんのアイデアは、公園を移動する図書館があると、図書館が好きでもいけない人に便利になるというものです。

ぼくのりそうの町は図書館がある町です。
その理由はぼくが図書館が好きだからです。
具体的には移動図書館で、たとえば子ども
が図書かんに行こうとすると親にたのまな
くちゃいけないけど公園に移動図書かんが
来れば子供だけでもいけます。

ぼくのりそうの町は図書館のある町です。
その理由はぼくが図書館が好きだからです。
具体的には移動図書館で、たとえば子ども
が図書かんに行こうとすると親にたのまな
くちゃいけないけど公園に移動図書かんが
来れば子供だけでもいけます。